



放課後等デイサービス自己評価表(保護者等向け)
発達みかんの木

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	0	0		
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	3	0	・どなたがどういった専門性をお持ちか認識できていない。	定期的に職員についてお知らせしていく。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	8	0	・設備の状況を認識できていない。 ・わかりません。	必要な設備を精査して、ひとつひとつ改善していく。
適切な支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	35	0	0	・子どもの苦手なところを適切な助言、指導をしていただき、少しずつ自分で考えて気持ちを伝えられるようになってきたと思います。協調運動についても、体幹を鍛えるよう計画を立てていただき徐々に改善されてきていると思います。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	34	1	0		
	⑥ 放課後児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	21	5	・今のところ特に希望はしていないが、いい影響があるのであれば交流などがあってもいいのかもしれない。 ・コロナ禍のため何とも答えられない。 ・別になくても良いかなと思います。 ・本人はあまり交流を好まないで特になくていいです。	コロナ禍のこと、保護者の要望の声を併せて考えていく必要がある。左記の施設の他、公共の場や高齢者施設との交流も考えられる。
保護者への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	1	0		
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34	1	0		
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	6	1	・コロナ禍のため何とも答えられない。 ・送迎の時のみになっている。面談の希望を聞いて、希望する人には調整して実施してほしい。	
保護者への 説明等	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	19	4	・以前は開催されていたが、最近はなくなり残念です。 ・今はコロナのこともあり、難しいのではと思います。 ・子どもが活動している姿を親が見るとか、一緒に活動できるイベントなどがあつたらいいなとは思っています。 ・コロナ禍のため何とも答えられない。 ・余裕があれば、親同士のつながりが持てたらいいと思う。	コロナ禍のこともあり難しい時期ではあるが、せめて年に数回でも何らかの形で開催していきたい。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	4	0		
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	3	0	・送迎の時に話すぐらいいないので、年に1~2回は面談の時間をとって話す機会があると、より細やかな情報交換ができると思う。	希望される方を中心に、個別面談を設定していきたい。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	5	1	・以前は会報やホームページがあつたが、最近は更新などもないように思う。 ・よくわかりません。	全体への告知が十分でないところがある。見やすい形を考え、適切な方法で充実させたい。イベントの報告、療育への取り組みなどをご紹介していく。
非常時等 の対応	⑭ 個人情報に十分注意しているか	34	1	0		
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	6	0	・変更などもあるかと思うので、毎年配布するなど工夫してほしい。	適時必要な変更を行い、保護者、職員への周知を徹底する。
満足度	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	4	0		
	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	32	3	0	・イベントの内容によっては行きたがらないこともあります。特に週末になると多いです。 ・上の子は楽しみにしている様子です。いつもありがとうございます。 ・毎回ニコニコで参加しています。 ・とても楽しく通所して、画像や動画などもLINEで送ってもらって助かります。	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	35	0	0	・相談など、親身になって話を聞いてくださるのでとてもありがたいと思っています。 ・問題が起きた時にいつも丁寧に向き合ってくれます。感覚統合の療育現場は、他の事業所よりもケガなど注意が必要だと思いますが、大きなケガもなく今まで利用できていることに感謝しています。引き続きどうぞよろしく願います。 ・子どもが自分で行きたい日を選び、安心して通所して、利用してよかったと思っています。	

放課後等デイサービス自己評価表(職員向け)
 発達みかんの木



		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	0	全体の広さは市内有数である。その中のレイアウトや各スペースの用途は今後も改善を図っていく。
	②	利用人数に対して職員の配置数は適切であるか	7	0	0	制度上の配置基準よりも多めの人数を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	6	0	運動療育をメインとしていることもあり、誰もが使いやすいわけではない箇所もある。場所によってはできていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	0	毎日の申し送りをはじめとしたミーティングの中で、振り返りや考察、今後の方向性の一致を図ったりしている。重要なことはSNSなどで共有しているが、参加していない人やあとから見返した時に分かりやすいような手法は、今後も改善の余地がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	結果をミーティングで共有し、改善について話し合いを行った。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やHP等で公開しているか	6	1	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	0	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	0	入社時や、既存スタッフへの研修を行っているが、まだまだ充実させる必要がある。これまでの取り組みの枠にこだわらず、幅広く内容を考えていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	標準化と言えるほどではないところがある。行いやすい、見やすいものにするという改善できる余地がある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	複数で担当しながら行っている。相互に相談しながら、固定化せずに新たなものを取り入れるようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	0	その日の終了後ではなく、SNSや次の日の朝礼などで共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	3	0	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精進した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	担任や担当の先生からその日の様子を教えていただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	1	保護者からの連絡を受けて対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	0	同じみかんの木の児童発達支援事業にいた子どもの情報は聞いているが、それ以外は十分に理解できていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	1	まだいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	1	研修の案内などは行っているが、まだまだ十分な連携とはなっていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	コロナ禍のこと、保護者の要望の声などを併せて考えていく必要がある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	4	2	今のところ行ってない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	0	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	0	コロナ禍のこともあり、今年初めごろから保護者の入った場は設けていない。動向を見ながら改めて検討していく。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0	
保護者への説明責任等	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	コロナ禍のこともあり、今年初めごろから保護者の入った場は設けていない。動向を見ながら改めて検討していく。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	
	③5	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	1	大きく開いた活動は行っていない。地域の施設やイベントに参加することはある。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	0	作成している。定期的な見直し・周知が必要。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	4	0	行っている。今後も実際に生かせるような内容にしながら行っていく。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	3	1	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	間が空くと意識が薄れがちになる。新たな職員などに過去の例も共有しながら意識を維持していく必要がある。